

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 富山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	3
富山市	富山市民病院	4
富山市	富山まちなか病院	5
高岡市	高岡市民病院	6
氷見市	金沢医科大学 氷見市民病院	7
黒部市	黒部市民病院	8
砺波市	市立砺波総合病院	9
南砺市	南砺市民病院	10
南砺市	公立南砺中央病院	11
射水市	射水市民病院	12
上市町	かみいち総合病院	13
朝日町	あさひ総合病院	14

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	66,220 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救急が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	665	82.9	76.9	74.3
療養	-	-	-	-
結核	16	14.0	11.5	16.6
精神	50	72.9	64.9	67.3
感染症	2	16.2	13.8	11.6
計	733	80.5	74.5	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.0	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,034,814	
決算規模(千円)	614,212,503	
標準財政規模(千円)	307,388,299	
財政力指数	0.45346	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	223.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	30,279,038			
1 経常収益	30,279,038			
(1) 医業収益	26,890,534			
(うち修正医業収益)	26,649,659			
入院収益	17,712,453			
外来収益	8,616,738			
診療収入計	26,329,191			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	561,343			
(うち他会計負担金)	240,875			
(2) 医業外収益	3,388,504			
(うち国・都道府県補助金)	1,640,233			
(うち他会計補助・負担金)	1,419,170			
(うち長期前受金戻入)	95,414			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29,791,400			
2 経常費用	29,767,556			
(1) 医業費用	28,225,241			
職員給与費	11,930,852	44.4	59.4	52.8
材料費	9,907,260	36.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	5,391,334	20.0	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,345,118	16.2	11.8	13.9
減価償却費	1,919,979	7.1	8.7	7.7
経費	4,245,697	15.8	22.1	18.0
(うち委託料)	2,066,238	7.7	11.7	10.7
研究研修費	96,940			
資産減耗費	124,513			
(2) 医業外費用	1,542,315			
(うち支払利息)	113,517	0.4	1.0	0.9
(3) 特別損失	23,844			
損益	511,482			
純損益	487,638			
累積欠損金	5,670,661			
経常収支比率	101.7		103.3	102.8
医業収支比率	95.3		85.5	90.3
修正医業収支比率	94.4		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	5.5		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	96.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	42,630,479
1 固定資産	31,981,074
(1) 有形固定資産	30,612,807
(2) 無形固定資産	1,510
(3) 投資その他の資産	1,366,757
2 流動資産	10,649,405
(1) 現金及び預金	4,253,256
(2) 未収金及び未収収益	6,243,791
(3) 貸倒引当金()	3,806
(4) 貯蔵品	153,874
3 繰延資産	-
負債合計	30,683,195
1 固定負債	18,993,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,644,836
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,190,572
(7) 一ス債務	157,895
2 流動負債	6,736,176
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,245,024
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	733,006
(6) リ一ス債務	62,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,633,544
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,953,716
(1) 長期前受金	8,660,107
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,706,391
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,947,284
1 資本金	16,168,770
2 剰余金	-4,221,486
(1) 資本剰余金	1,632,990
(2) 利益剰余金	-5,854,476
負債・資本合計	42,630,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,660,970	1,660,045
資本勘定繰入	288,602	288,602
計	1,949,572	1,948,647

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			富山県
市町村・組合名			
病院名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,638 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	12	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	232	84.5	87.2	87.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	232	84.5	87.2	87.2
平均在院日数(一般病床のみ)		76.0	81.2	80.0

設立団体の状況		
人口(人)	1,034,814	
決算規模(千円)	614,212,503	
標準財政規模(千円)	307,388,299	
財政力指数	0.45346	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	223.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,084,584			
1 経常収益	1,009,130			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,009,130			
(うち国・都道府県補助金)	113,689			
(うち他会計補助・負担金)	531,599			
(うち長期前受金戻入)	347,745			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75,454			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,029,608			
2 経常費用	1,029,608			
(1) 医業費用	911,890			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	342,989	-	8.7	9.7
経費	568,626	-	22.1	28.9
(うち委託料)	512,956	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	275			
(2) 医業外費用	117,718			
(うち支払利息)	23,432	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-20,478			
純損益	54,976			
累積欠損金	183,815			
経常収支比率	98.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	52.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	49.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	46.4		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	42,630,479
1 固定資産	31,981,074
(1) 有形固定資産	30,612,807
(2) 無形固定資産	1,510
(3) 投資その他の資産	1,366,757
2 流動資産	10,649,405
(1) 現金及び預金	4,253,256
(2) 未収金及び未収収益	6,243,791
(3) 貸倒引当金()	3,806
(4) 貯蔵品	153,874
3 繰延資産	-
負債合計	30,683,195
1 固定負債	18,993,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,644,836
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,190,572
(7) 一時的借入金	157,895
2 流動負債	6,736,176
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,245,024
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	733,006
(6) リース債務	62,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,633,544
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,953,716
(1) 長期前受金	8,660,107
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,706,391
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,947,284
1 資本金	16,168,770
2 剰余金	-4,221,486
(1) 資本剰余金	1,632,990
(2) 利益剰余金	-5,854,476
負債・資本合計	42,630,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	519,883	531,599
資本勘定繰入	137,861	275,724
計	657,744	807,323

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,430 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	489	68.0	67.0	59.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	47.8	38.2	42.7
感染症	6	-	-	4.1
計	545	65.4	63.6	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.3	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	185,526,848	
標準財政規模(千円)	103,405,647	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	94.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,491,409			
1 経常収益	12,484,110			
(1) 医業収益	10,532,718			
(うち修正医業収益)	10,373,989			
入院収益	7,406,467			
外来収益	2,676,096			
診療収入計	10,082,563			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	450,155			
(うち他会計負担金)	158,729			
(2) 医業外収益	1,951,392			
(うち国・都道府県補助金)	895,538			
(うち他会計補助・負担金)	967,295			
(うち長期前受金戻入)	21,892			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,299			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,536,036			
2 経常費用	12,535,826			
(1) 医業費用	12,041,813			
職員給与費	6,822,126	64.8	59.4	52.8
材料費	2,406,540	22.8	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,215,477	11.5	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,191,063	11.3	11.8	13.9
減価償却費	752,381	7.1	8.7	7.7
経費	1,996,683	19.0	22.1	18.0
(うち委託料)	1,268,913	12.0	11.7	10.7
研究研修費	28,173			
資産減耗費	35,910			
(2) 医業外費用	494,013			
(うち支払利息)	15,527	0.1	1.0	0.9
(3) 特別損失	210			
経常損益	-51,716			
純損益	-44,627			
累積欠損金	4,690,811			
経常収支比率	99.6		103.3	102.8
医業収支比率	87.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	86.1		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	9.0		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	90.6		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,675,576
1 固定資産	9,171,085
(1) 有形固定資産	9,093,042
(2) 無形固定資産	78,043
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,504,491
(1) 現金及び預金	769,408
(2) 未収金及び未収収益	2,694,657
(3) 貸倒引当金()	6,661
(4) 貯蔵品	47,087
(5) 繰延資産	-
負債合計	8,928,540
1 固定負債	6,164,230
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,035,799
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,128,431
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,616,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	820,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	484,496
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,261,064
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	147,407
(1) 長期前受金	586,862
(2) 長期前受金収益化累計額()	439,455
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,747,036
1 資本金	9,105,887
2 剰余金	-5,358,851
(1) 資本剰余金	10,225
(2) 利益剰余金	-5,369,076
負債・資本合計	12,675,576
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,104,695	1,126,024
資本勘定繰入	129,489	129,489
計	1,234,184	1,255,513

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名		富山市			
病院名		富山まちなか病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,833 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	80.4	79.3	69.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	80.4	79.3	69.6
平均在院日数(一般病床のみ)		27.8	24.1	24.1

設立団体の状況		
人口(人)	413,938	
決算規模(千円)	185,526,848	
標準財政規模(千円)	103,405,647	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	94.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	896,844			
1 経常収益	896,844			
(1) 医業収益	832,969			
(うち修正医業収益)	832,969			
入院収益	494,848			
外来収益	263,904			
診療収入計	758,752			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,217			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	63,875			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	56,870			
(うち長期前受金戻入)	977			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	973,428			
2 経常費用	973,428			
(1) 医業費用	941,658			
職員給与費	556,121	66.8	59.4	76.5
材料費	135,185	16.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	99,595	12.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,590	4.3	11.8	6.4
減価償却費	12,914	1.6	8.7	11.5
経費	234,336	28.1	22.1	32.6
(うち委託料)	132,440	15.9	11.7	14.8
研究研修費	3,102			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	31,770			
(うち支払利息)	29	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	92.1		103.3	101.5
医業収支比率	88.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	88.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	86.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,675,576
1 固定資産	9,171,085
(1) 有形固定資産	9,093,042
(2) 無形固定資産	78,043
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,504,491
(1) 現金及び預金	769,408
(2) 未収金及び未収収益	2,694,657
(3) 貸倒引当金()	6,661
(4) 貯蔵品	47,087
3 繰延資産	-
負債合計	8,928,540
1 固定負債	6,164,230
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,035,799
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,128,431
(7) 一 負債	-
2 流動負債	2,616,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	820,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	484,496
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,261,064
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	147,407
(1) 長期前受金	586,862
(2) 長期前受金収益化累計額()	439,455
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,747,036
1 資本金	9,105,887
2 剰余金	-5,358,851
(1) 資本剰余金	10,225
(2) 利益剰余金	-5,369,076
負債・資本合計	12,675,576
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	56,631	56,870
資本勘定繰入	5,757	5,757
計	62,388	62,627

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	高岡市				
病院名	高岡市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,068 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	305	71.3	70.3	67.6
療養	-	-	-	-
結核	12	49.8	43.6	28.6
精神	50	48.0	60.4	59.0
感染症	6	-	-	4.9
計	373	66.3	67.2	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.0	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	166,393	
決算規模(千円)	69,923,583	
標準財政規模(千円)	40,005,245	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	85.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	105.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,588,498			
1 経常収益	9,588,498			
(1) 医業収益	7,603,915			
(うち修正医業収益)	7,522,328			
入院収益	5,267,223			
外来収益	2,054,179			
診療収入計	7,321,402			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	282,513			
(うち他会計負担金)	81,587			
(2) 医業外収益	1,984,583			
(うち国・都道府県補助金)	1,068,418			
(うち他会計補助・負担金)	820,229			
(うち長期前受金戻入)	56,679			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,282,438			
2 経常費用	9,282,438			
(1) 医業費用	8,788,427			
職員給与費	4,551,917	59.9	59.4	59.0
材料費	1,751,983	23.0	26.1	25.6
(うち薬品費)	998,288	13.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	688,235	9.1	11.8	11.2
減価償却費	641,739	8.4	8.7	8.6
経費	1,820,097	23.9	22.1	21.3
(うち委託料)	948,758	12.5	11.7	11.6
研究研修費	14,100			
資産減耗費	8,591			
(2) 医業外費用	494,011			
(うち支払利息)	122,047	1.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	306,060			
純損益	306,060			
累積欠損金	8,984,390			
経常収支比率	103.3		103.3	104.8
医業収支比率	86.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	85.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	93.6		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,228,453
1 固定資産	7,953,990
(1) 有形固定資産	7,949,676
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,314
2 流動資産	3,274,463
(1) 現金及び預金	1,814,181
(2) 未収金及び未収収益	1,427,760
(3) 貸倒引当金()	5,323
(4) 貯蔵品	35,121
3 繰延資産	-
負債合計	8,245,667
1 固定負債	5,493,028
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,493,028
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,190,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,106,421
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	301,205
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	753,585
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	561,819
(1) 長期前受金	1,180,740
(2) 長期前受金収益化累計額()	618,921
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,982,786
1 資本金	11,967,176
2 剰余金	-8,984,390
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,984,390
負債・資本合計	11,228,453
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	893,114	901,816
資本勘定繰入	58,477	59,766
計	951,591	961,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	118.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		富山県	
市町村・組合名	氷見市		
病院名	金沢医科大学 氷見市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	24,217 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	245	72.0	74.9	77.9
療養	-	-	-	-
結核	5	3.6	3.6	4.9
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	70.6	73.5	76.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.2	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	43,950	
決算規模(千円)	26,824,053	
標準財政規模(千円)	12,365,400	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	85.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	31.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,096,271			
1 経常収益	1,092,371			
(1) 医業収益	387,854			
(うち修正医業収益)	326,400			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	387,854			
(うち他会計負担金)	61,454			
(2) 医業外収益	704,517			
(うち国・都道府県補助金)	30,890			
(うち他会計補助・負担金)	509,110			
(うち長期前受金戻入)	32,923			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,900			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,404,539			
2 経常費用	1,400,639			
(1) 医業費用	1,341,384			
職員給与費	28,859	7.4	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	467,903	120.6	8.7	9.7
経費	838,442	216.2	22.1	28.9
(うち委託料)	555	0.1	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	6,180			
(2) 医業外費用	59,255			
(うち支払利息)	58,452	15.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	3,900			
損益	経常損益	-308,268		
	純損益	-308,268		
累積欠損金	8,238,090			
経常収支比率	78.0		103.3	101.8
医業収支比率	28.9		85.5	80.8
修正医業収支比率	24.3		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	52.2		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	147.1		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	52.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	37.3		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,503,065
1 固定資産	4,051,356
(1) 有形固定資産	3,938,881
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	112,475
2 流動資産	451,709
(1) 現金及び預金	28,141
(2) 未収金及び未収収益	423,568
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,917,202
1 固定負債	3,659,020
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,659,020
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	890,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	458,871
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	431,341
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	367,594
(1) 長期前受金	934,833
(2) 長期前受金収益化累計額()	567,239
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-414,137
1 資本金	7,687,039
2 剰余金	-8,101,176
(1) 資本金剰余金	136,914
(2) 利益剰余金	-8,238,090
負債・資本合計	4,503,065
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	414,137
資本不足額(繰延収益控除後)()	46,543
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	447,522	570,564
資本勘定繰入	266,411	307,297
計	713,933	877,861

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2124.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	黒部市				
病院名	黒部市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	48,784 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	405	67.2	65.6	67.6
療養	-	-	-	-
結核	5	-	6.3	23.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.1	5.1	1.0
計	414	65.8	64.3	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	10.3	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	39,638	
決算規模(千円)	23,680,960	
標準財政規模(千円)	12,941,290	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	117.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,117,412			
1 経常収益	12,117,412			
(1) 医業収益	10,385,668			
(うち修正医業収益)	10,158,668			
入院収益	5,871,325			
外来収益	3,792,276			
診療収入計	9,663,601			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	722,067			
(うち他会計負担金)	227,000			
(2) 医業外収益	1,731,744			
(うち国・都道府県補助金)	866,813			
(うち他会計補助・負担金)	399,369			
(うち長期前受金戻入)	52,477			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,004,959			
2 経常費用	12,004,959			
(1) 医業費用	10,869,463			
職員給与費	5,274,725	50.8	59.4	57.2
材料費	2,875,353	27.7	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,746,995	16.8	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,055,145	10.2	11.8	12.7
減価償却費	983,583	9.5	8.7	8.0
経費	1,689,554	16.3	22.1	19.0
(うち委託料)	899,188	8.7	11.7	10.0
研究研修費	38,899			
資産減耗費	7,349			
(2) 医業外費用	1,135,496			
(うち支払利息)	102,699	1.0	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	112,453			
純損益	112,453			
累積欠損金	197,862			
経常収支比率	100.9		103.3	103.2
医業収支比率	95.5		85.5	88.6
修正医業収支比率	93.5		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	5.2		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	95.7		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,999,505
1 固定資産	12,383,289
(1) 有形固定資産	12,216,630
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	166,659
2 流動資産	5,616,216
(1) 現金及び預金	3,485,572
(2) 未収金及び未収収益	2,063,880
(3) 貸倒引当金()	3,229
(4) 貯蔵品	69,695
3 繰延資産	-
負債合計	10,661,492
1 固定負債	7,500,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,439,807
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	60,931
2 流動負債	2,394,982
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	843,595
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	324,797
(6) リ一ス債務	24,372
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,165,387
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	765,772
(1) 長期前受金	1,412,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	646,232
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,338,013
1 資本金	7,042,931
2 剰余金	295,082
(1) 資本剰余金	492,944
(2) 利益剰余金	-197,862
負債・資本合計	17,999,505
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	962,300	626,369
資本勘定繰入	478,806	30,000
計	1,441,106	656,369

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	砺波市				
病院名	市立砺波総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	47,729 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	418	65.7	67.6	71.6
療養	-	-	-	-
結核	5	18.8	35.0	8.0
精神	44	44.2	41.3	52.7
感染症	4	45.6	62.5	32.9
計	471	63.0	64.8	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	14.5	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	48,154	
決算規模(千円)	22,011,121	
標準財政規模(千円)	13,860,109	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	22.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,766,949			
1 経常収益	11,766,949			
(1) 医業収益	9,849,874			
(うち修正医業収益)	9,621,119			
入院収益	6,079,271			
外来収益	3,319,337			
診療収入計	9,398,608			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	451,266			
(うち他会計負担金)	228,755			
(2) 医業外収益	1,917,075			
(うち国・都道府県補助金)	791,643			
(うち他会計補助・負担金)	853,245			
(うち長期前受金戻入)	86,297			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,618,169			
2 経常費用	11,618,169			
(1) 医業費用	10,949,115			
職員給与費	5,971,765	60.6	59.4	57.2
材料費	2,538,017	25.8	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,444,118	14.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,031,821	10.5	11.8	12.7
減価償却費	857,011	8.7	8.7	8.0
経費	1,549,289	15.7	22.1	19.0
(うち委託料)	828,488	8.4	11.7	10.0
研究研修費	22,719			
資産減耗費	10,314			
(2) 医業外費用	669,054			
(うち支払利息)	98,317	1.0	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	148,780			
純損益	148,780			
累積欠損金	2,414,762			
経常収支比率	101.3		103.3	103.2
医業収支比率	90.0		85.5	88.6
修正医業収支比率	87.9		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	9.2		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	92.0		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,750,345
1 固定資産	9,908,286
(1) 有形固定資産	9,611,470
(2) 無形固定資産	3,594
(3) 投資その他の資産	293,222
2 流動資産	3,842,059
(1) 現金及び預金	1,672,113
(2) 未収金及び未収収益	2,087,288
(3) 貸倒引当金()	6,033
(4) 貯蔵品	88,691
3 繰延資産	-
負債合計	9,487,369
1 固定負債	6,298,215
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,298,215
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	2,254,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,028,970
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	415,302
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	791,528
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	935,018
(1) 長期前受金	2,232,328
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,297,310
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,262,976
1 資本金	6,333,719
2 剰余金	-2,070,743
(1) 資本剰余金	344,019
(2) 利益剰余金	-2,414,762
負債・資本合計	13,750,345
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,417,032	1,082,000
資本勘定繰入	579,848	18,000
計	1,996,880	1,100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	南砺市				
病院名	南砺市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,674 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	175	78.2	78.6	79.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	175	78.2	78.6	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.7	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	35,550,460	
標準財政規模(千円)	21,470,858	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,948,917			
1 経常収益	3,914,476			
(1) 医業収益	3,397,950			
(うち修正医業収益)	3,358,262			
入院収益	2,156,346			
外来収益	1,069,504			
診療収入計	3,225,850			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	172,100			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	516,526			
(うち国・都道府県補助金)	109,600			
(うち他会計補助・負担金)	367,562			
(うち長期前受金戻入)	23,830			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34,441			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,930,585			
2 経常費用	3,930,585			
(1) 医業費用	3,765,643			
職員給与費	2,228,863	65.6	59.4	67.0
材料費	506,730	14.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	259,192	7.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	210,267	6.2	11.8	9.4
減価償却費	260,439	7.7	8.7	10.2
経費	743,114	21.9	22.1	28.8
(うち委託料)	401,644	11.8	11.7	13.2
研究研修費	14,732			
資産減耗費	11,765			
(2) 医業外費用	164,942			
(うち支払利息)	30,846	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	-16,109			
純損益	18,332			
累積欠損金	1,704,393			
経常収支比率	99.6		103.3	104.5
医業収支比率	90.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	89.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.3		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	89.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,689,028
1 固定資産	8,167,520
(1) 有形固定資産	8,093,548
(2) 無形固定資産	24,942
(3) 投資その他の資産	49,030
2 流動資産	3,521,508
(1) 現金及び預金	2,198,659
(2) 未収金及び未収収益	1,308,516
(3) 貸倒引当金()	9,085
(4) 貯蔵品	23,418
3 繰延資産	-
負債合計	6,627,526
1 固定負債	4,498,097
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,370,983
(2) その他の企業債	5,114
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	122,000
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,419,445
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	613,775
(2) その他の企業債	1,698
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	136,000
(5) 引当金	233,911
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	404,631
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	709,984
(1) 長期前受金	1,291,673
(2) 長期前受金収益化累計額()	581,689
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,061,502
1 資本金	10,097,336
2 剰余金	-5,035,834
(1) 資本剰余金	14,117
(2) 利益剰余金	-5,049,951
負債・資本合計	11,689,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	368,415	407,250
資本勘定繰入	163,342	172,076
計	531,757	579,326

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	南砺市				
病院名	公立南砺中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,959 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	104	85.4	78.4	81.6
療養	45	73.2	83.2	79.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	81.7	79.8	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	14.7	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	47,937	
決算規模(千円)	35,550,460	
標準財政規模(千円)	21,470,858	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,782,721			
1 経常収益	2,765,074			
(1) 医業収益	2,296,410			
(うち修正医業収益)	2,260,116			
入院収益	1,564,896			
外来収益	623,191			
診療収入計	2,188,087			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	108,323			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	468,664			
(うち国・都道府県補助金)	48,254			
(うち他会計補助・負担金)	372,062			
(うち長期前受金戻入)	27,758			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,647			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,615,196			
2 経常費用	2,614,997			
(1) 医業費用	2,468,472			
職員給与費	1,320,666	57.5	59.4	67.0
材料費	322,503	14.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	132,365	5.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	186,515	8.1	11.8	9.4
減価償却費	189,486	8.3	8.7	10.2
経費	631,538	27.5	22.1	28.8
(うち委託料)	301,659	13.1	11.7	13.2
研究研修費	2,920			
資産減耗費	1,359			
(2) 医業外費用	146,525			
(うち支払利息)	46,949	2.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	199			
損益	150,077			
純損益	167,525			
累積欠損金	3,345,558			
経常収支比率	105.7		103.3	104.5
医業収支比率	93.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	91.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.1		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,689,028
1 固定資産	8,167,520
(1) 有形固定資産	8,093,548
(2) 無形固定資産	24,942
(3) 投資その他の資産	49,030
2 流動資産	3,521,508
(1) 現金及び預金	2,198,659
(2) 未収金及び未収収益	1,308,516
(3) 貸倒引当金()	9,085
(4) 貯蔵品	23,418
3 繰延資産	-
負債合計	6,627,526
1 固定負債	4,498,097
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,370,983
(2) その他の企業債	5,114
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	122,000
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,419,445
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	613,775
(2) その他の企業債	1,698
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	136,000
(5) 引当金	233,911
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	404,631
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	709,984
(1) 長期前受金	1,291,673
(2) 長期前受金収益化累計額()	581,689
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,061,502
1 資本金	10,097,336
2 剰余金	-5,035,834
(1) 資本剰余金	14,117
(2) 利益剰余金	-5,049,951
負債・資本合計	11,689,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	392,711	408,356
資本勘定繰入	231,955	231,955
計	624,666	640,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				富山県	
市町村・組合名	射水市				
病院名	射水市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,467 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	195	68.6	73.5	66.4
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	67.3	72.0	65.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	21.2	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	90,742	
決算規模(千円)	40,960,565	
標準財政規模(千円)	25,703,382	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	67.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	3,883,921				
1 経常収益	3,883,921				
(1) 医業収益	3,240,981				
(うち修正医業収益)	3,150,980				
入院収益	2,068,997				
外来収益	876,536				
診療収入計	2,945,533				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	295,448				
(うち他会計負担金)	90,001				
(2) 医業外収益	642,940				
(うち国・都道府県補助金)	191,899				
(うち他会計補助・負担金)	407,609				
(うち長期前受金戻入)	27,653				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,848,964				
2 経常費用	3,848,964				
(1) 医業費用	3,670,980				
職員給与費	1,893,485	58.4	59.4	67.0	
材料費	442,493	13.7	26.1	18.2	
(うち薬品費)	170,969	5.3	14.0	8.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	232,566	7.2	11.8	9.4	
減価償却費	334,588	10.3	8.7	10.2	
経費	982,025	30.3	22.1	28.8	
(うち委託料)	442,641	13.7	11.7	13.2	
研究研修費	7,360				
資産減耗費	11,029				
(2) 医業外費用	177,984				
(うち支払利息)	48,009	1.5	1.0	1.1	
(3) 特別損失	-				
経常損益	34,957				
純損益	34,957				
累積欠損金	524,026				
経常収支比率	100.9		103.3	104.5	
医業収支比率	88.3		85.5	80.1	
修正医業収支比率	85.8		82.8	76.0	
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		11.1	15.0	
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.1	20.8	
他会計繰入金対総収益比率	12.8		11.0	15.1	
実質収益対経常費用比率	88.0		91.9	88.8	

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	5,735,319	
1 固定資産	5,077,742	
(1) 有形固定資産	4,972,346	
(2) 無形固定資産	70,505	
(3) 投資その他の資産	34,891	
2 流動資産	657,577	
(1) 現金及び預金	49,970	
(2) 未収金及び未収収益	591,770	
(3) 貸倒引当金()	1,012	
(4) 貯蔵品	16,849	
3 繰延資産	-	
負債合計	5,858,499	
1 固定負債	4,415,910	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,415,910	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) 一時的借入金	-	
2 流動負債	1,000,794	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	512,543	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	120,013	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	150,000	
(8) 未払金及び未払費用	203,865	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	441,795	
(1) 長期前受金	627,790	
(2) 長期前受金収益化累計額()	185,995	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	-123,180	
1 資本金	400,846	
2 剰余金	-524,026	
(1) 資本剰余金	-	
(2) 利益剰余金	-524,026	
負債・資本合計	5,735,319	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	123,180	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	438,050	497,610
資本勘定繰入	302,327	306,327
計	740,377	803,937

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	284,845	9.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 富山県	
市町村・組合名	上市町		
病院名	かみいち総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,312 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	148	72.3	74.5	69.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	56.1	59.2	57.1
感染症	-	-	-	-
計	199	68.1	70.6	66.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	12.5	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	19,351	
決算規模(千円)	10,870,037	
標準財政規模(千円)	6,391,677	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	56.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,136,463			
1 経常収益	4,136,158			
(1) 医業収益	3,461,265			
(うち修正医業収益)	3,351,658			
入院収益	1,806,987			
外来収益	1,328,313			
診療収入計	3,135,300			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	325,965			
(うち他会計負担金)	109,607			
(2) 医業外収益	674,893			
(うち国・都道府県補助金)	214,208			
(うち他会計補助・負担金)	388,000			
(うち長期前受金戻入)	38,854			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	305			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,927,009			
2 経常費用	3,915,555			
(1) 医業費用	3,724,173			
職員給与費	2,155,538	62.3	59.4	67.0
材料費	526,829	15.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	294,322	8.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	232,507	6.7	11.8	9.4
減価償却費	187,552	5.4	8.7	10.2
経費	839,138	24.2	22.1	28.8
(うち委託料)	465,900	13.5	11.7	13.2
研究研修費	11,651			
資産減耗費	3,465			
(2) 医業外費用	191,382			
(うち支払利息)	36,774	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	11,454			
損益	220,603			
純損益	209,454			
累積欠損金	2,411,723			
経常収支比率	105.6		103.3	104.5
医業収支比率	92.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	90.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	92.9		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,061,485
1 固定資産	3,413,895
(1) 有形固定資産	3,348,750
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	65,145
2 流動資産	1,647,590
(1) 現金及び預金	951,682
(2) 未収金及び未収収益	687,233
(3) 貸倒引当金()	2,200
(4) 貯蔵品	10,875
3 繰延資産	-
負債合計	3,078,831
1 固定負債	1,973,195
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,973,195
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	695,537
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	298,448
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	134,400
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	242,736
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	410,099
(1) 長期前受金	1,225,580
(2) 長期前受金収益化累計額()	815,481
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,982,654
1 資本金	4,346,665
2 剰余金	-2,364,011
(1) 資本剰余金	47,712
(2) 利益剰余金	-2,411,723
負債・資本合計	5,061,485
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	495,607	497,607
資本勘定繰入	161,596	164,346
計	657,203	661,953

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	69.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		富山県	
市町村・組合名	朝日町		
病院名	あさひ総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	17,503 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	109	89.5	84.8	82.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	109	89.5	84.8	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.0	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	11,081	
決算規模(千円)	9,361,125	
標準財政規模(千円)	5,142,469	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,522,818			
1 経常収益	3,522,678			
(1) 医業収益	2,779,008			
(うち修正医業収益)	2,717,571			
入院収益	1,529,315			
外来収益	1,028,045			
診療収入計	2,557,360			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	221,648			
(うち他会計負担金)	61,437			
(2) 医業外収益	743,670			
(うち国・都道府県補助金)	77,024			
(うち他会計補助・負担金)	420,758			
(うち長期前受金戻入)	227,428			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	140			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,365,447			
2 経常費用	3,356,847			
(1) 医業費用	3,166,493			
職員給与費	1,425,612	51.3	59.4	67.0
材料費	468,015	16.8	26.1	18.2
(うち薬品費)	251,819	9.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	182,570	6.6	11.8	9.4
減価償却費	324,489	11.7	8.7	10.2
経費	932,468	33.6	22.1	28.8
(うち委託料)	413,551	14.9	11.7	13.2
研究研修費	9,025			
資産減耗費	6,884			
(2) 医業外費用	190,354			
(うち支払利息)	69,134	2.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	8,600			
損益	165,831			
純損益	157,371			
累積欠損金	145,833			
経常収支比率	104.9		103.3	104.5
医業収支比率	87.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	85.8		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	90.6		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,028,918
1 固定資産	5,158,112
(1) 有形固定資産	5,095,992
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	62,120
2 流動資産	870,806
(1) 現金及び預金	341,518
(2) 未収金及び未収収益	437,695
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	88,975
3 繰延資産	-
負債合計	4,745,813
1 固定負債	3,620,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,517,325
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	103,498
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	848,198
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	453,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,528
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	307,468
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	276,792
(1) 長期前受金	864,400
(2) 長期前受金収益化累計額()	587,608
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,283,105
1 資本金	1,341,686
2 剰余金	-58,581
(1) 資本剰余金	73,252
(2) 利益剰余金	-131,833
負債・資本合計	6,028,918
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	359,083	482,195
資本勘定繰入	246,490	259,715
計	605,573	741,910

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。